

令和2年12月11日

指定管理者の指定について（練馬区立春日町リサイクルセンター）

1 内容

地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項の規定に基づき、練馬区立春日町リサイクルセンターの指定管理者をつぎのとおり指定する。

2 指定管理者

東京都千代田区神田神保町二丁目30番地

練馬エコみらいプロジェクト

構成団体（代表）

東京都千代田区神田神保町二丁目30番地

株式会社 小学館集英社プロダクション

代表取締役 都 築 伸 一 郎

構成団体

東京都渋谷区千駄ヶ谷五丁目14番9号

テルウェル東日本株式会社

代表取締役 谷 誠

3 指定の期間

令和3年4月1日から令和8年3月31日まで（5年間）

4 選定の経過

令和2年4月14日

第1回指定管理者選定小委員会

（業務の範囲、利用料金制の採否、応募資格、評価項目・評価基準、指定の期間の審議）

5月19日

令和2年度第1回指定管理者選定委員会

（業務の範囲、利用料金制の採否、応募資格、評価項目・評価基準、指定の期間の審議結果の報告）

6月24日	第2回指定管理者選定小委員会 (募集要項の審議)
7月1日	ねりま区報および練馬区ホームページで公募、募集要項配布 開始
7月13日	募集説明会(参加団体数2)
7月14日～7月20日	応募書類受付(経営状況に関する部分・応募団体数1)
7月27日	経営診断委託
7月14日～7月31日	応募書類受付(事業計画に関する部分)
8月18日	第3回指定管理者選定小委員会 (プレゼンテーションおよびヒアリングの実施) (応募団体の評価、採点)
11月9日	令和2年度第2回指定管理者選定委員会 (応募団体の審査、指定管理者候補の決定)
12月11日	令和2年第四回練馬区議会定例会 (指定管理者指定議案議決)

5 選定の理由

選定に当たっては、応募団体の企画書、プレゼンテーションの内容、経営診断結果その他提出書類等をもとに評価した結果、複数の環境啓発施設の運営実績を有しており、安定的な施設運営が期待できること、また、施設の設置目的や地域特性を踏まえた具体的な事業提案であること等の理由により、練馬エコみらいプロジェクトが練馬区立春日町リサイクルセンターを運営するにふさわしいと判断した。評価項目ごとの評価内容(主な提案の内容、評価した点等)はつぎのとおりである。(審査結果は、別表のとおり)

なお、指定管理者選定委員会および指定管理者選定小委員会では、有識者委員を加えて評価を行った。

【団体審査】

安定性・継続性

代表団体は、営業損益は下降気味であるが、資金力、借入金の返済能力、経営の安全性は平均より優れている。また、構成団体は、売上げ規模が大きく、每期安定して

利益を計上している。いずれの団体も財務基盤は安定しており、長期的に安定した事業活動が可能である。

組織体制

個人情報保護、情報セキュリティおよび情報公開に関する規程を適正に整備している。

情報セキュリティの国際規格であるISMSの認定を取得するなど、団体運営の透明性・公正性が確保されている。

労働関係法令に基づき、給与規程、就業規則等を適正に整備している。

団体の施設運営実績

代表団体は都内の環境啓発施設の運営に数多く携わっており、構成団体は練馬区立小竹図書館など、施設維持管理の実績を有している。共同事業体としてリサイクルセンターの運営に必要な実績が十分にある。

区内事業者か否か

区内事業者ではない。

【提案審査】

施設運営体制

当該施設の設置目的・現状を理解し、他自治体の運営実績を生かしてボランティアの育成に取り組むなど、具体的な提案がある。

利用者ニーズをアンケートや懇談会等で集約し、独自にモニタリングを実施することで、運営に反映させていく提案がある。

職員に対しては、研修メニューをレベルに応じて段階的に設定しているほか、外部講習等への参加や資格取得を支援・奨励する制度を設けている。

新型コロナウイルス感染症への対応については、対策ガイドラインの整備のほか、イベント・講座のオンライン化等へ積極的に取り組む姿勢がある。

これらの提案は、人材育成や環境負荷の低減といったリサイクルセンターの特性に合致しており、評価できる。

利用者等への対応

利用者の満足度を高めるため、これまで運営を受託してきた施設でのノウハウを生かしつつ、新たな課題に対しては全職員で共有し、様々な視点から解決を図るとの具体的な提案があり、評価できる。

また、毎年「ホスピタリティ研修」を実施するほか、「高齢者疑似体験」等の実践的な研修の提案があり、職員の接遇向上の取組について、評価できる。

施設の維持管理・安全性への配慮

災害その他緊急時に迅速に対応するため、マニュアル等を適切に整備するだけでなく、関町リサイクルセンターに配置する施設維持管理責任者が春日町リサイクルセンターも巡回することで、施設の不具合等に対し早期に解決を図っていく姿勢が評価できる。

効率的な管理運営

人員配置、再委託の範囲、事業計画および収支計画はこれまでの施設運営状況に照らして妥当である。

また、現指定管理者の構成団体が協力事業者として参画し円滑に運営を移行することや、実績のある他施設と連携しスケールメリットを生かした事業運営を実施する等の提案があり、評価できる。

施設特性に応じた評価項目

代表団体の人材育成事業実績を生かし、ボランティア同士の交流や活躍の場の提供をすることで、リサイクルセンター内外での自主的な活動を促す提案がある。

施設周辺に子育て世代が多く居住していることから、託児付き講座を開催したり、代表団体の持つ教育資源を活用した新企画を実施することで、新たな利用者の獲得を目指す姿勢がある。

4 リサイクルセンターを巡るスタンプラリーを実施するなど、施設間の相互連携を行うことでさらなる環境啓発意識の向上に取り組む提案がある。

これらの提案は、リサイクルセンターの施設特性に照らし、区の求める基準を満たしている。

地域への貢献

職員の雇用や業務の再委託、物品の調達については、専門性等を考慮しながら地域を優先する具体的な提案があり、評価できる。

また、これまで施設が講座やイベント等で築いてきた地域との関係を継承しつつ、団体が運営する他の区立施設とも積極的に交流し、地域連携を推進する提案が評価できる。

指定管理者選定の審査結果（練馬区立春日町リサイクルセンター）

	評価項目	評価基準	配点	得点
団 体 審 査	1 安定性・継続性	利益を上げる力の有無 事業効率の状況 資金力の有無 借入金の返済能力の有無 経営の安全性	5点	3点
	2 組織体制	個人情報保護および情報セキュリティ確保のための取組 情報公開の取組 法令等の遵守（労働関係法令の遵守を含む。）に対する団体の取組	5点	4点
	3 団体の施設 運営実績	リサイクルセンターと同種、同規模施設の運営実績 現在、運営している施設の状況および施設での取組内容・取組の成果 過去のトラブルへの対応状況	10点	8点
	4 区内事業者 か否か	区内事業者である、または構成員に区内事業者が含まれる	10点	0点
提 案 審 査	5 施設運営体制	施設の設置目的・現状を踏まえた管理・運営の基本的な考え方 現在のサービス水準の維持および向上のための提案内容 利用者ニーズの把握とニーズを反映させるための取組 職員に対する教育、研修体制	30点	24点
	6 利用者等への 対応	利用者への公平公正な対応 利用者等の人権の配慮 苦情解決体制 職員の接遇に関する取組	20点	16点
	7 施設の維持管理・ 安全性への配慮	日常的な点検体制 災害その他緊急時の危機管理体制 管理上の不具合や問題の区への報告体制	30点	24点
	8 効率的な管理 運営	効率的な人員配置 再委託の範囲の妥当性 事業計画と収支計画の妥当性 その他効率的・効果的な施設運営に係る提案 提案金額の妥当性	30点	24点
	9 施設特性に応 じた評価項目	ボランティアの育成と活用 環境・リサイクルについての普及啓発事業に関する提案内容 清掃リサイクル事業に対する協力 リサイクルセンター相互の運営協力に関する提案内容	30点	18点
	10 地域への貢献	区民雇用の促進（非常勤・臨時職員を含む。） 再委託における区内事業者の活用・物品の区内事業者からの調達 地域、関係機関、ボランティア等との協働・連携の推進	30点	24点
合 計			200点	145点